

## IUHPE／北部西太平洋地域（NPWP）の最近の動向

岡田加奈子\*<sup>1</sup>

抄録：本稿では、特に2011年以降のヘルスプロモーション・健康教育国際連合（IUHPE）／北部西太平洋地域（NPWP）の動向について、紹介する。IUHPEでは理事会組織体制を改変し、より活発な活動を目指している。3年に1度行われるIUHPE総会やアジア太平洋ヘルスプロモーション・健康教育学会（Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education: APHPE）への日本を含めたNPWP地域からの参加者・発表者は多い。今後は、会員数の増大を図ることが課題である。

〔日健教誌, 2014; 22(1): 59-62〕

キーワード：ヘルスプロモーション・健康教育国際連合, 北部西太平洋地域, アジア太平洋ヘルスプロモーション・健康教育学会

### I ヘルスプロモーション・健康教育国際連合（International Union for Health Promotion and Education: IUHPE）について

IUHPEは、1951年に設立された国際的NGOである。IUHPE & NPWPの2010年以前の概要については、中原俊隆氏<sup>1)</sup>が総括しているゆえ、本論では主に最近の動向について言及する。

IUHPEは、2011年からは、4つの優先領域（健康の社会的決定要因、ヘルスプロモーションの持続可能な発展、非感染性疾患の予防とコントロール、ヘルスプロモーションシステム）とIUHPE内部の組織運営を優先活動領域として掲げ、活動を行っている。学術的な成果としては、Global Health Promotionという学術雑誌を出している。

IUHPEの会長は、2013年8月にオーストラリアのMichael Sparks氏が、前期（2010-2013年）に続いて選出され、精力的に改革を行っている。その一つとして、理事会をさらに活性化するために、

今期（2013-2016年）より組織編成を改変した。具体的には、理事会構成員を会長、前会長、一般会員の中から選ばれた12人以下のグローバルメンバー、各地域代表（副会長）、財務、法制度を担当する理事会から指名された3人以下のグローバルメンバーとし、任期を3年間とした。

また、IUHPEは3年に1度総会を行っており、2013年8月にはタイのパタヤで約2,200名の参加者を得て盛大に行われた。次回2016年はブラジル南部のパラナ州の州都、クリチバ市（Curitiba）で開催予定である。

2014年の課題としては、①IUHPE活性化のため収入を増加させること、②会員相互のコミュニケーションを効果的に進めること、③会員数の増加を図ること、④運営内容を深化させ各地域を含め活動を活性化すること、⑤世界会議開催を成功させるための基盤づくりをすること（財政、学術等）、⑥学術的資源を共有し、専門職の人々への認証制度を確立するための一貫性のある基盤づくりを行うこと等が掲げられ、2013年12月の理事会にて討議された。

\*<sup>1</sup> 千葉大学教育学部

連絡先：岡田加奈子

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生1-33

千葉大学教育学部

Email: okada@faculty.chiba-u.jp

## II 北部西太平洋地域 (Northern Part of the Western Pacific: NPWP) について

IUHPE は、現在世界を7の地域－ラテンアメリカ地域－ORLA (Latin America), 北アメリカ地域－NARO (North America), 南東アジア地域－SEARO (South East Asia), 北部西太平洋地域－NPWP (Northern Part of the Western Pacific), 南西太平洋地域－SWP (South West Pacific), ヨーロッパ地域－EURO (Europe), アフリカ地域－AFRO (Africa)－<sup>2)</sup>に分けている。日本は、韓国、中国、台湾などととも、NPWPに属している。3年に1回あるIUHPEの世界会議のある年に、各地域の代表選挙等が行われる。地域代表選挙は、各地域の会員の直接投票によるもので、NPWPでは2013年8月、日本健康教育学会の衛藤隆理事長が新たに代表に選ばれた。NPWPの代表は自動的にIUHPEの副会長となり、様々な会務にあたっている。NPWPのディレクターは前期に続き著者岡田加奈子が務めることとなった。

また、前述したIUHPEの理事会のグローバルメンバーとしてNPWPからは、Fu Hua氏 (Fudan大学：中国)、Chiou Shu-Ti氏 (健康福祉省：台湾)が選出された<sup>3)</sup>。

## III NPWPの地域委員会 (Regional Committee)

NPWPはIUHPEの規約に基づいて、2009年に地域委員会 (Regional Committee)を組織し、定期的に会議を行っている。また、各国・地区ごとに活動を行っているが、日本 (ディレクター 順天堂大学：福田洋、獨協医科大学：春山康夫)、韓国 (Yonsei 大学：Nam, Eun Woo)、香港・マカオ周辺地域である Pearl River Region (健康省：Tsang, Kwong-Ka, 香港中文大学：Lee, Albert) はリエゾンオフィス (Liaison Office) を設置し、活動を行っている。

## IV アジア太平洋ヘルスプロモーション・健康教育学会 (Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education: APHPE)

NPWPの活動として、最大のイベントは、IUHPEの前年に3年に1度開催する学会、アジア太平洋ヘルスプロモーション・健康教育学会 (Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education: APHPE)である。第1回は2009年7月18～20日に武藤孝司教授 (獨協医科大学、日本健康教育学会国際交流委員長) が日本の千葉市幕張メッセで開催した。続く第2回は2012年5月4～6日に台湾・台北市のFu Jen Catholic Universityにて行われ、次回、第3回は2015年にFudan 大学 (上海) のFu Hua 教授が中心となり中国で開催予定である。

## V 今後の課題と展望

現在IUHPEの最大の課題は財政である。財政基盤は、会員の年会費に依拠するため、会員数増加が重要とされている。その会員の種類区分はTrustee members (ヘルスプロモーションに責任ある組織)、Institutional members, Individual members, Student members, Retired members, Honorary membersとなっている<sup>4)</sup>。NPWPではHealth Promotion Bureau, Department of Health, (台湾)がTrustee membersであり、他の会員数は約170である。また、会員会費はその国の経済状況から10段階に分けられており、日本は過去においては、最高位であったが、現在は2番目に高い会費のIランクに位置している<sup>5)</sup>。

NPWP全体の傾向として、IUHPE総会やAPHPEの参加者や発表者は非常に多いが、会員でなくても発表はできるため、会員数はそれに比べて少ない。会員になるメリットを増やし、広報していくことが重要となるであろう。

## 文 献

- 1) 中原俊隆. IUHPE & NPWPの6年間 (2004-2010)の総括. 日本健康教育学会誌. 2011; 19: 67-70.

- 2) IUHPE Regions. <http://www.IUHPE.org/index.php/en/regions> (2013年12月30日アクセス).
- 3) IUHPE-trustee-members. <http://www.IUHPE.org/index.php/en/advisory-forum/IUHPE-trustee-members> (2013年12月30日アクセス).
- 4) IUHPE categories. <http://www.IUHPE.org/index.php/en/membership/categories> (2013年12月30日アクセス).
- 5) IUHPE membership-fees. <http://www.IUHPE.org/index.php/en/membership/membership-fees> (2013年12月30日アクセス).  
(受付 2014.1.5. ; 受理 2014.1.22.)

## The recent trend of IUHPE/Northern Part of the Western Pacific (NPWP)

Kanako OKADA<sup>\*1</sup>

### Abstract

This article introduces the trend of International Union for Health Promotion and Education (IUHPE)/Northern Part of the Western Pacific (NPWP) with a particular focus on the period after 2011. The Executive Board organization system has changed in IUHPE and aims at being more active and lively. There are many participants and presenters from NPWP including Japan to the IUHPE general meeting and APHPE which are held once every three years. How to increase the number of members remains a challenge.

[JJHEP, 2014 ; 22(1) : 59-62]

Key words: International Union for Health Promotion and Education: IUHPE, Northern Part of the Western Pacific: NPWP, Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education: APHPE

---

<sup>\*1</sup> Chiba University